



THE BIGGEST

JAPANESE MALLS ARE INVESTING IN

CAMBODIA



Latest Information

2023年3月某日

2023年3月初旬、GCCジャパンは某県様のカンボジア視察のアテンドを行いました。今後の日本産の農産物をカンボジアに流通させるために、流通ルートなど、ショッピングモールやスーパーなどの視察を通じてご覧いただきました。また、会員制の日本創作高級レストラン YUEブノンペン 総料理長であるLuiz様から直々に「どのように日本産のもの入手しているのか」などのご説明いただきました。今回このような貴重なアテンドの機会をいただき、大変光栄に思います。



GCオルセーマーケット ショールームにて



ローカルスーパーでカンボジアの珍しい野菜を発見



YUEブノンペン 総料理長 Luiz様



YUEブノンペン VIPラウンジ

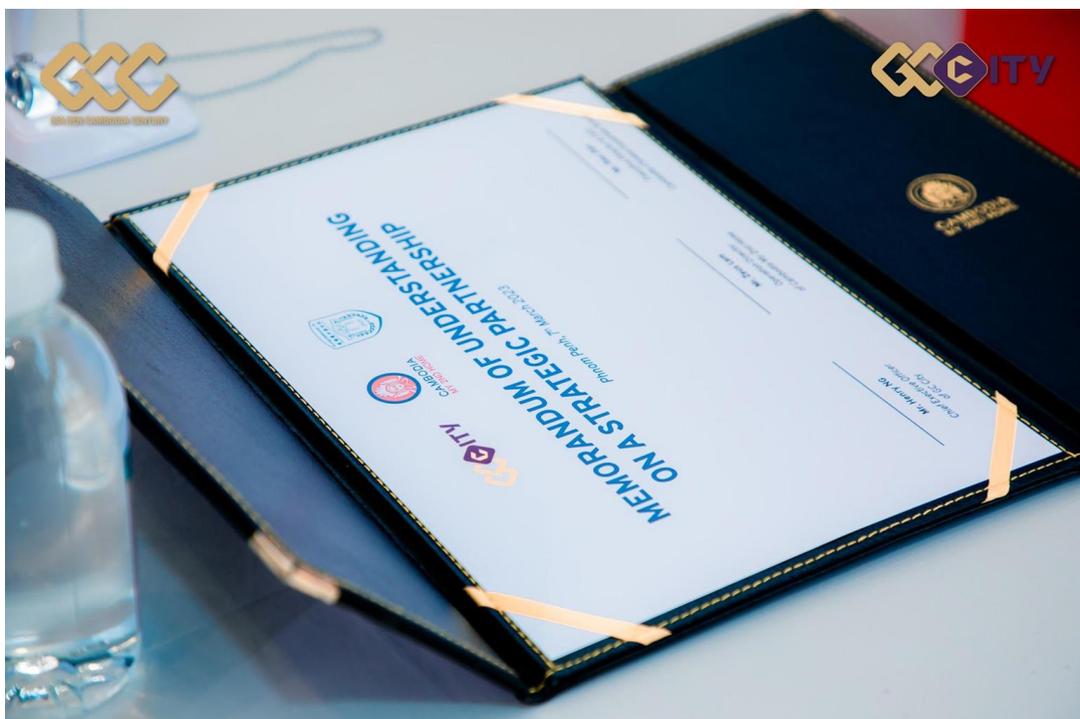
2023年03月24日

富裕層のための国際的なプラットフォームである "海外不動産移住留学展" が開催されました。この展示会は、海外不動産、海外移住、海外留学、海外投資の4つのテーマで、40カ国から様々な出展者の協力を得て、2023年3月24日から26日までの3日間、中国・蘇州で行われました。ゴールデンカンボジア センチュリー（GCC）グループは、このイベントに参加し、BOREY NADI やGC オルセーマーケットなどのプロジェクトを紹介しました。



2023年01月09日

GCシティ、カンボジア・マイ・セカンド・ホーム（CM2H）、カンボジア華僑学校（CCES）は、2023年3月7日にGCシティ本部（クロヤンバル地区）で、ビジネス協力を強化するための戦略的パートナーシップ協力を締結しました。





CAMBODIA
MY 2ND HOME

Latest Information

2023年03月17日

本日3月17日から3日間開催される「柬中不動産・自動車・ライフスタイル Expo」が、カンボジアのプノンペンに所在するThe Olympia Mallで初日を迎えました。

この展示会には、カンボジア評価機関・不動産業者協会（CVEA）会長のSorn Seap氏をはじめ、不動産・自動車・ライフスタイルの投資家、その他の著名なゲストの方々にもご参加いただきました。

カンボジアの10年間ゴールデンビザが取得できるカンボジア移住・進出プログラム、CM2H

（Cambodia My Second Home）もブースNo.A05Bにて出展者として本展示会に参加しております。





Latest Information

2023年03月03日

台湾プロジェクトマネジメント協会（TPMA）は、カンボジア・マイ・セカンド・ホーム（CM2H）プロジェクトと協力協定を結び、CM2Hの台湾における総代理店となりました。TPMAのリー・チェンワン会長は、1月に代表団を率いてカンボジアを訪れ、「TPMAプロジェクトマネジメント協会カンボジアサービスオフィス」を設立し、CM2Hと深い協力関係にあることを確認しました。直近では、CM2HプロジェクトディレクターのZeus Lamは、マネージャーのAmber Chan、Jennifer Yik、プロモーションアンバサダーのAlex Loを率いて台湾を訪問しています。高雄市民進党党委員会の徐志山委員長が立会人として招かれ、両者の協力の成功に対し前向きな姿勢を見せていました。



CAMBODIA

Latest Information

2023年03月24日

カンボジア首相、日本財団の活動を称賛

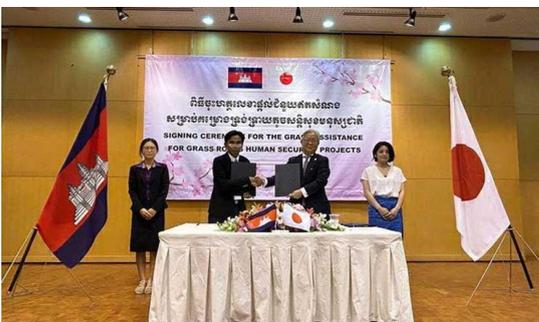


カンボジアのフン・セン首相は3月24日、プノンペン平和宮で公益財団法人日本財団の笹川陽平会長の表敬訪問にて財団活動について報告を受けました。カンボジアでは日本財団が約30年前から義肢製作学校の設立に取り組んでおり、これまでに28カ国から研修生が派遣されているとのことです。笹川会長は財団のミャンマーにおける人的活動についても報告し、首相はカンボジアだけでなく他国のために義肢を提供する財団の活動進展を称えました。

出典 : PM Hun Sen lauds Sasakawa Foundation's activities
<https://www.khmertimeskh.com/501261917/pm-hun-sen-lauds-sasakawa-foundations-activities/>

2023年03月20日

カンボジア・タケオ州のコミュニティテクノロジーセンター、日本より支援を受ける



日本政府はタケオ州バティ群にコミュニティ・テクノロジー・センター（CTC）を建設するために、カンボジアに145,692ドルの助成金を提供しました。8,000人の地域住民が情報通信技術（ICT）を学ぶことを支援するほか、1,000人の学生にデジタル技術向上のトレーニングを提供することが期待されています。カンボジアのインターネット加入者数は1720万人で2019年に記録した1610万人から増加しており、カンボジアの人々が早いペースでテクノロジーを受け入れ勉強や購入、SNSによるスマートフォンの利用増加を示しています。

出典 : Takeo Community Technology Centre gets Japanese support
<https://www.khmertimeskh.com/501257838/takeo-community-technology-centre-gets-japanese-support/>

2023年03月19日

日本元財務副大臣、カンボジア国立エイズ庁と協力強化



出典：Former Japanese lawmaker pledges to strengthen cooperation with National AIDS Authority
<https://www.khmertimeskh.com/501257597/former-japanese-lawmaker-pledges-to-strengthen-cooperation-with-national-aids-authority/>

藤田幸久元財務副大臣は、国家エイズ局の議長を務める仏教自由民主党のIeng Mouly事務局長を表敬訪問し、当局との協力関係を強化することを約束しました。
藤田氏はカンボジアがあらゆる分野、特にHIV/AIDS対策で成果を上げていることを高く評価しました。
当局によりますと2023年までに2,300人の子どもを含む74,000人がHIVに感染しており、抗レトロウイルス療法を受けている人は62,561人、エイズ関連死は1,100人に上るとのことです。

2023年03月15日

日本政府、カンボジアの橋建設と養鶏の改善に21万ドルを提供



出典：Japan provides \$210,000 to build bridge, improve poultry farming.
<https://www.khmertimeskh.com/501255084/japan-provides-210000-to-build-bridge-improve-poultry-farming/>

日本政府はカンボジアに対し、草の根・人間の安全保障無償資金協力に基づき209,197ドルの支援を行いました。
この支援の内100,394ドルはコンポントム州プラサット・サンボー郡の橋の建設に、108,803ドルは養鶏農家の施設や設備の設置改修に、それぞれ費やされます。

2023年03月10日

中国、カンボジアを含むアジア文化遺産イベントを開催へ



出典：Xi'an to host Asian cultural heritage event, including Cambodia
<https://www.khmertimeskh.com/501252726/xian-to-host-asian-cultural-heritage-event-including-cambodia/>

中華人民共和国・国人民政治協商会議第14期全国委員会委員の李群氏は、アジア全域の文化遺産管理者、保存者、研究者の協力を促進するため、「アジア文化遺産連盟設立総会」を陝西省西安で開催される予定であるとしました。
この会議以前にも中国はカンボジアで国際共同修復プログラムを行っており、シムリアップ州チャウセイ・テボダ寺院が中国の海外初の事例として1998年に作業が開始されています。

2023年03月09日

カンボジアの対日アパレル輸出、2022年はさらに伸びて12億ドル超に



出典：Cambodia's apparel exports to Japan grow further in 2022 to more than \$1.2 billion
<https://www.khmertimeskh.com/501219856/21-fall-in-dec-22-pulled-annual-apparel-exports-down/>

カンボジアの対日アパレル輸出は、2020年にCOVID-19の流行で落ち込んだものの、2022年には2年連続で増加しました。四半期ごとの貿易データでは、2022年7-9月期の衣料品は、2022年第2四半期の2億3749万1000ドルから3億8061万1000ドルとなり、60%の増加を示しました。ズボンとショーツは最も輸出された製品で、全体に占める割合は38.88%となっています。

2023年03月09日

カンボジア・シアヌーク経済特区に日本支援のコンテナ貨物駅がオープン



出典：Container freight station aided by Japan opens in Cambodia's SPSEZ
<https://www.khmertimeskh.com/501252036/container-freight-station-aided-by-japan-opens-in-cambodias-spsez/>

カンボジアのシアヌークビル港経済特区に、日本の政府開発援助（ODA）により建設されたコンテナ貨物駅が完成しました。港経済特区でのビジネス発展や投資家の誘致が進むことが期待されています。シアヌークビル自治港は、長さ400mの新コンテナ港、長さ350mの多目的港、岸壁の長さ253mのコンテナ港への改造、深海コンテナ港の建設を3段階に分けて行うための日本のコンセッション型融資を受けています。

2023年03月09日

日本政府高官、カンボジアを「平和の提供者と認識」と発言



出典：Senior Japanese official says Cambodia recognized as 'peace provider'
<https://www.khmertimeskh.com/501252061/senior-japanese-official-says-cambodia-recognized-as-peace-provider/>

内閣府国際平和協力本部事務局（PKO）の加納雄大事務局長は、カンボジアのプラク・ソコン副首相兼外務・国際協力大臣を表敬訪問し、平和提供国としてのカンボジアの役割を賞賛しました。

両氏は今年に包括的・戦略的パートナーシップに格上げされた強固な二国間関係に満足感を示し、二国間及び国連との三者間の枠組みにおける平和維持活動や地雷対策パートナーシップについて議論しました。

2023年03月08日

世界平和の流れを作る人々



出典：Kingdom, Japan to boost economic ties to mark 70th anniversary of diplomatic relations
<https://www.khmertimeskh.com/501235450/kingdom-japan-to-boost-economic-ties-to-mark-70th-anniversary-of-diplomatic-relations/>

日本の国際連合カンボジア暫定統治機構への参加は、戦後初めての自衛隊の海外平和維持活動となりました。カンボジアは2006年以降、9カ国に8,000人以上の平和維持要員を派遣しており、日本は1992年からカンボジアの平和プロセスに積極的に関与してきました。

日本は1993年以来、カンボジアに多額の資金と技術援助を提供し、学校、病院、道路、港、橋、電気システム、水処理施設の建設と復旧を支援しています。

2023年03月07日

カンボジア鉱業エネルギー省が日本貿易保険と契約、カンボジアにさらなる力を



出典：More power to Cambodia as MME inks deal with Japan's NEXI
<https://www.khmertimeskh.com/501250156/more-power-to-cambodia-as-mme-inks-deal-with-japans-nexi/>

カンボジア鉱業エネルギー省と株式会社日本貿易保険は、カンボジア国内の送電網の整備を目的とした合意文書を締結しました。

この締結により日本企業の技術紹介や潜在的なプロジェクトに関する意見交換など、カンボジアにおける日本のビジネスチャンスの創出・促進が期待されます。

岸田首相はアジア諸国の脱炭素化を推進しエネルギー転換を進めるため、2022年にアジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）構想を発表しています。

2023年03月07日

日本が3箇所に計30万ドル以上を支援



出典：Japan provides over \$300,000 to 3 provinces
<https://www.khmertimeskh.com/501250273/japan-provides-over-300000-to-3-provinces/>

日本政府は、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」として、カンボジアに300,779ドルの支援を行いました。

この支援によりオドーミエンチェイ州教育・青年・スポーツ局、クラチエ州教育・青少年・スポーツ局、プノンペン府のキエン・クラン・リハビリテーションセンターにそれぞれ120,768ドル、91,010ドル、89,001ドルの支援金が贈与されました。

この支援金はそれぞれミエンチェイ州バンテアイ・アンピル群のロムドゥール小学校の老朽化した建物と5つの教室の再建、クラチエ州プレアック・プラサブ郡のプノン・ローエル小学校新校舎の建設、障害者への理学療法サービスの向上に役立てられます。

2023年03月06日

カンボジア首相、クメール正月に国民を故郷に送るため数百台の車両配備を指示



フン・セン首相はプノンペン都庁に対し、来るクメール正月に人々が故郷を訪問するための交通手段として、約400台の車両を配備するよう命じました。

クメール正月は仏教が盛んなカンボジアでは重要な行事で、毎年4月14日から16日の3日間で行われます。

出典：PM orders hundreds of vehicles to take citizens home for Khmer New Year

<https://www.khmertimeskh.com/501250015/pm-orders-hundreds-of-vehicles-to-take-citizens-home-for-khmer-new-year/>

2023年03月03日

カンボジア非政府組織 3 団体、日本から84万ドルの援助



植野篤志駐カンボジア大使は非政府組織（NGO）3団体と贈与契約書を結び、それぞれのプロジェクトが実施されることとなりました。カンボジアの人々は令和4年度日本NGO連携無償資金協力に基づき、（特活）Nature Center Risen、（公社）シャンティ国際ボランティア会、（特活）ハート・オブ・ゴールドの3つの団体のプロジェクトの恩恵を受けることとなります。日本政府は、カンボジアの教育や環境意識の向上を目的とした149のプロジェクトに対し、5,000万ドル以上を提供しています。

出典：Three Cambodian NGOs awarded Japanese aid worth \$843,946

<https://www.khmertimeskh.com/501248464/three-cambodian-ngos-awarded-japanese-aid-worth-843946/>

2023年03月03日

カンボジア、2022年の対日貿易で黒字幅が縮小



カンボジアの対日輸出額は2021年の10億9300万ドルから2022年には11億7300万ドルに7.32%増加し、輸入額は6億4000万ドルから7億7400万ドルに20.94%と急増しています。

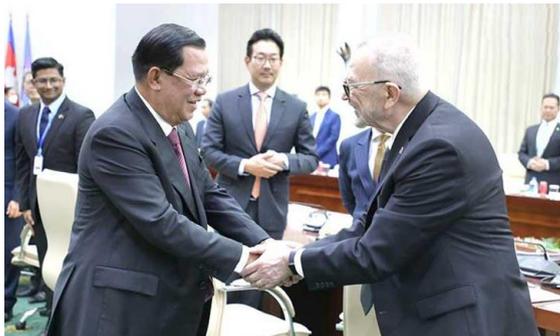
両国の貿易総額は12.3%増の約19.5億ドルとなっています。

出典：Cambodia's surplus narrows in trade with Japan last year

<https://www.khmertimeskh.com/501248458/cambodia-s-surplus-narrows-in-trade-with-japan-last-year/>

2023年03月02日

VisaとMastercard、英国で技術開発へ



国際的決済ブランドを経営するVisa IncとMastercard Incは、将来的に多国籍企業とのビジネス交流が期待されるカンボジアの中小企業を支援するため、決済技術や金融リテラシーに関するプログラムを開発するとのことです。

これはフン・セン首相と米国・ASEANビジネス協議会代表団との会談で明らかにされました。

出典 : Visa, Mastercard to develop technology in Kingdom
<https://www.khmertimeskh.com/501247698/visa-mastercard-to-develop-technology-in-kingdom/>

2023年03月02日

カンボジア信託規制当局、約500件7億ドルの投資信託を登録



カンボジアの投資信託登録は大幅に増加し、カンボジアの信託規制当局（TR）は492件のファンドが登録され7億3500万ドルの投資資金があるとしています。商業信託の投資資金が最も多く、次いで金融信託、個人信託の順となっています。

信託規制当局のSok Dara局長は、信託部門の進歩はカンボジアの発展のための新たな一幕であり、世間では特に民間企業から多くの注目を集めたと述べました。

出典 : Nearly 500 trusts registered with over \$700M investment fund
<https://www.khmertimeskh.com/501247701/nearly-500-trusts-registered-with-over-700m-investment-fund/>

2023年03月01日

カンボジア証券規制当局、マレーシア証券会社と協力・能力開発に関する基本合意を締結



カンボジア証券取引規制当局（SERC）は2023年2月27日、マレーシア証券委員会（SC）と両規制当局間の協力強化のための基本合意書に調印しました。

この協定は国境を越えた執行支援、資本市場仲介業者の規制・監督、ライセンス情報の円滑化を対象としており、相互の規制上の関心分野での協力関係を強化するものとしています。

出典 : Cambodia earns \$900 million from bicycle exports, up 43 percent
<https://www.khmertimeskh.com/501229539/cambodia-earns-900-million-from-bicycle-exports-up-43-percent/>

2023年03月01日

天皇誕生祝賀会、カンボジア首都でも開催



植野篤志駐カンボジア大使は、皇族、政府高官、外交官、国会議員、上院議員、市民団体のメンバーなど350人以上のゲストを招き、天皇陛下の63歳の御誕生日を祝うレセプションを開催しました。

出典 : Honouring Emperor Naruhito
<https://www.khmertimeskh.com/501247010/honouring-emperor-naruhito/>

2023年02月28日

カンボジア、三州を結ぶ橋の建設を決定



カンボジア王室政府はカンダル州とプレイベン州、スバイリエン州を結ぶメコン川に架かる新しい橋の建設を決定しました。費用は2億3千万ドルとなり、プノンベン-バベット高速道路プロジェクトに連動するとしています。

出典 : Cambodia to construct bridge crossing Mekong river to connect Kandal province to Prey Veng and Svay Rieng provinces
<https://www.khmertimeskh.com/501246676/cambodia-to-construct-bridge-crossing-mekong-river-to-connect-kandal-province-to-prey-veng-and-svay-rieng-provinces/>

2023年02月27日

日本・カンボジア友好70周年記念イベント開催



日本とカンボジアの外交関係樹立70周年を記念してプノンペンで公演が行われ、武井俊輔外務副大臣と南野陽子カンボジア親善大使が出席しました。

公演では両国の音楽家で構成されるオーケストラが演奏を披露し、南野親善大使が作曲した"Rainbow for Tomorrow"が一部クメール語で歌われました。

南野親善大使は歌手として活動しており、この曲は1970年代にカンボジアを支配したクメール・ルージュのもとで命を落とした人々を思っって作ったとしています。

Japan, Cambodia celebrate 70 years of friendship
<https://www.khmertimeskh.com/501245623/japan-cambodia-celebrate-kizuna/>

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp



GOLDEN CAMBODIA CENTURY